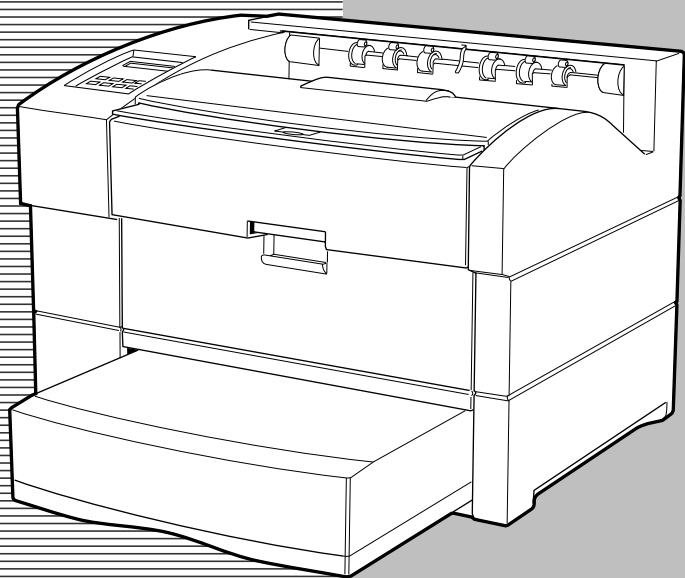


# 設置編



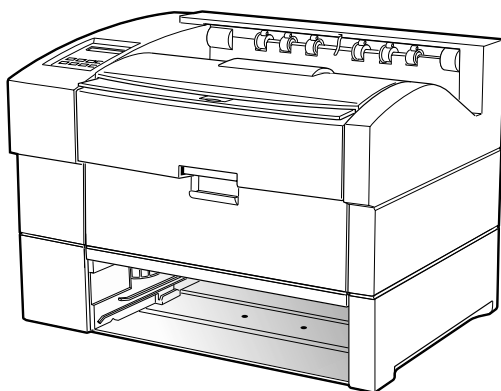
# 箱を開けて確認します

プリンターの箱を開けると、次のものが入っています。箱を開けて、すべてのものが揃っているかどうか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあつた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店までご連絡ください。

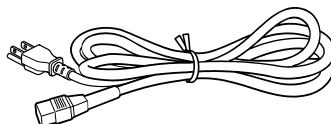
MEMO

箱や梱包材は、プリンターを移動したり、輸送したりする際に必要です。大切に保管しておいてください。

## プリンター本体

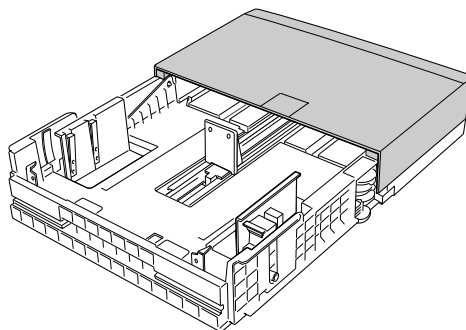


## 電源コード



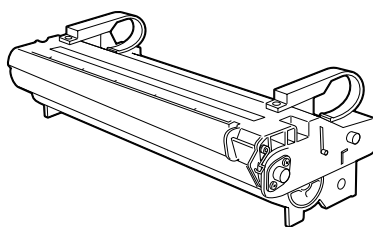
## 給紙カセット

用紙をカセット給紙するときに使用します。  
A5サイズからA3サイズまでの用紙を給紙することが可能なユニバーサル・タイプです。



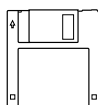
## EPカートリッジ

印刷用トナーが入っている専用カートリッジです。消耗品ですので、トナーがなくなったら新しいもの（別売）と交換してください。EPカートリッジの交換方法は「EPカートリッジを交換する」（P.87）、購入については「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」（P.199）で説明しています。参照してください。



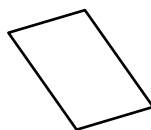
## ユーティリティー・ディスク

プリンター・ドライバーが入っています。使用方法は、「プリンター・ドライバーをインストールする」（P.31）で説明します。

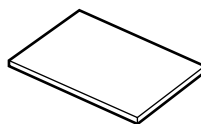


## 保証書

内容をお読みになり、必要事項がすべて記入されていることを確認のうえ、保管しておいてください。  
(梱包箱の側面にあります)

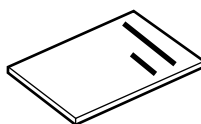


## 設置・操作ガイド（本書）



## 保守マニュアル

保守サービス員が点検・修理の際に参照するマニュアルです。いつでも取り出せる場所に保管して下さい。



## この他に必要なもの

### プリンター・ケーブル

プリンターとシステム・ユニットを接続するケーブルです。ご使用になるシステム・ユニットに適したものをお使いください。

使用できるケーブルについては「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」(P.199)、またはご使用になるシステム・ユニットの説明書を参照してください。

### 用紙

使用できる用紙については、「付録A 用紙について」(P.194)で説明しています。参照して、本プリンターに適したものをお使いください。



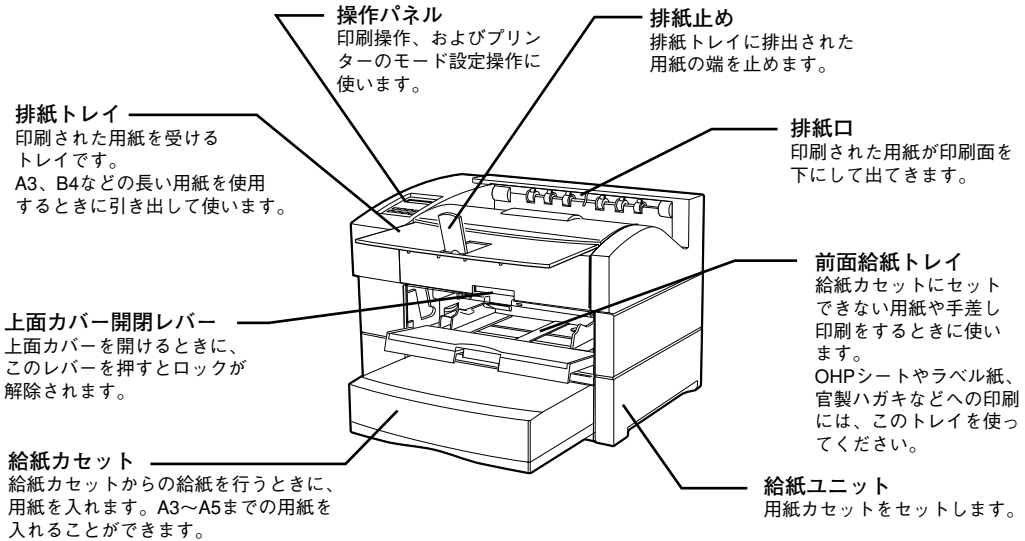
サプライ品およびオプション製品については「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」(P.199)で紹介しています。

# 各部の名称とはたらきを覚えてください

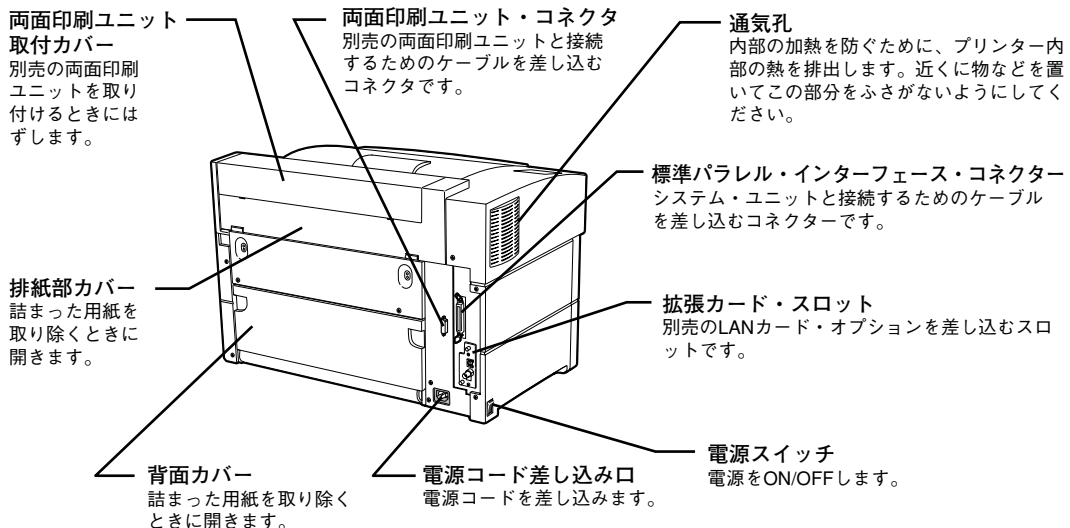
プリンター各部の名称とはたらきは次のとおりです。

## 本体

### 前面

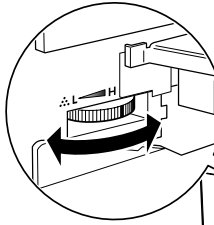


### 背面



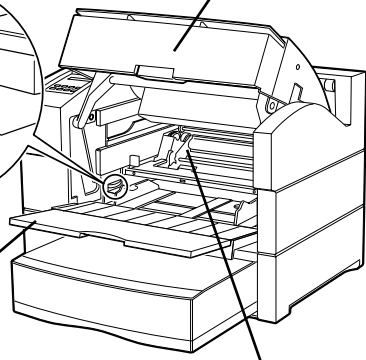
# 内部

**印刷濃度調整ダイヤル**  
ダイヤルを回すと、印刷濃度を調整することができます。



**上面カバー**

EPカートリッジの交換や、詰まった用紙を取り除くときに開けます。印刷中は開けないでください。



**延長前面給紙トレイ**

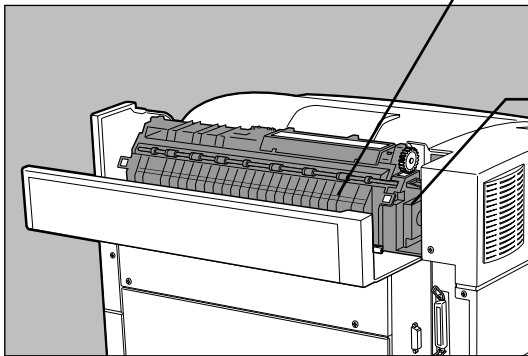
前面給紙トレイからはみ出す大きさの用紙をセットするときに、引き出して使います。

**EPカートリッジ**

トナーと感光ドラムが一体化されたカートリッジです。

**定着器カバー**

詰まった用紙を取り除くときに開きます。



**定着器**

用紙にトナーを定着させます。

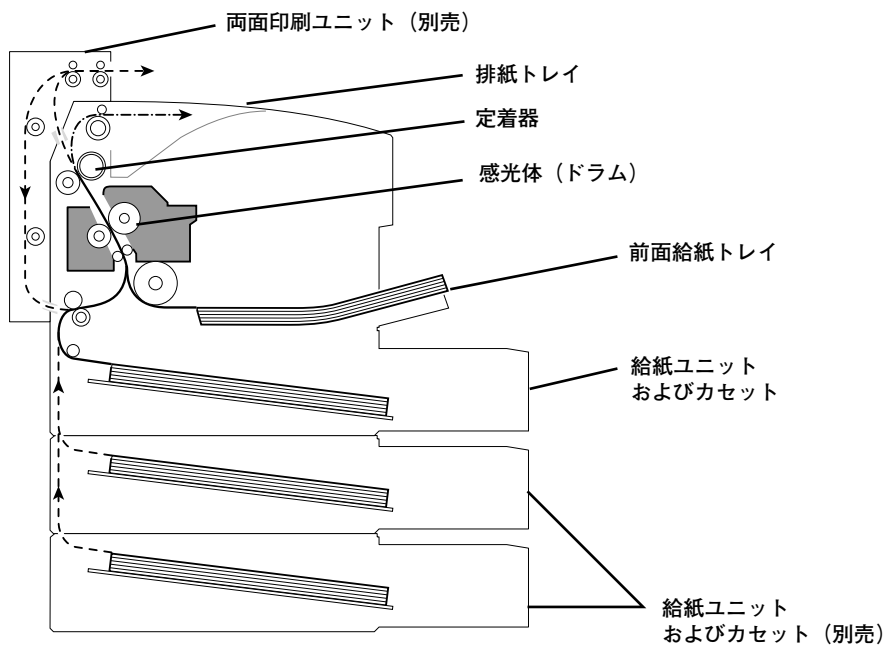


**注意** 排紙部カバー内部は非常に高温になっています。ここを開く場合は、十分に冷えている状態で行ってください。

## 用紙の流れ

プリンター内部の用紙の流れは次のようになります。

- 両面印刷ユニット装着時の用紙の流れ
- 両面印刷ユニット未装着時の用紙の流れ



- 1 前面給紙トレイまたはカセットから用紙が引き出されます。
- 2 感光体(ドラム)の横で画像が転写されます。
- 3 用紙上のトナー像が定着器によって定着されます。
- 4 両面印刷ユニットを通過した用紙は、もう一度、2の転写および3の定着処理が行われます。
- 5 排紙トレイへ用紙が排出されます。

# 設置についてのご注意

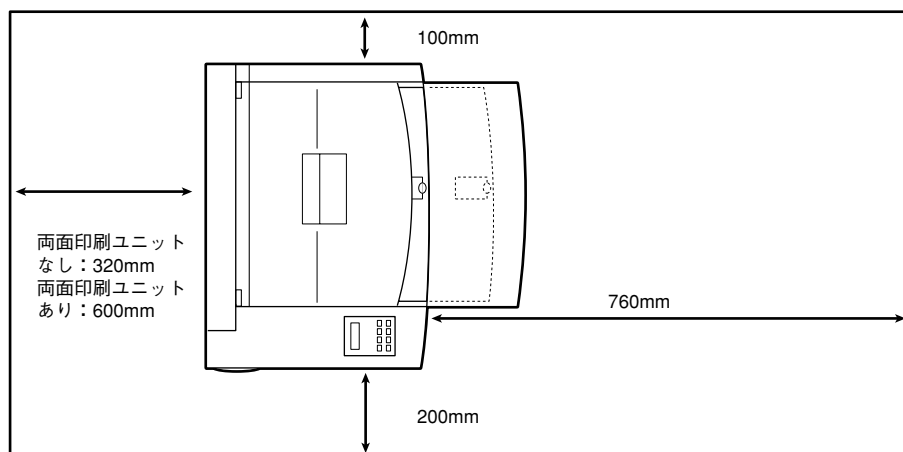
プリンターを設置する場所や条件について、次のことにご注意ください。

## 設置する場所

### 設置スペース

機械の向かって左側には通気孔があります。機械は壁から200mm以上離して設置してください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



### 設置する台



#### 注意

不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

設置する台は、プリンターが十分にのる大きさで、プリンターの重量（オプションや用紙をセットした状態）に十分耐えられる、水平で安定した台を選んでください。

台の高さは、自由ですが、操作がしやすく、操作パネルの表示などがよく見える高さにしてください。



## 設置場所の条件

良好な印字品質を保つために、設置場所は次のような条件に適したところをお選びください。

温度 5～35℃

湿度15～85%（結露がないこと）

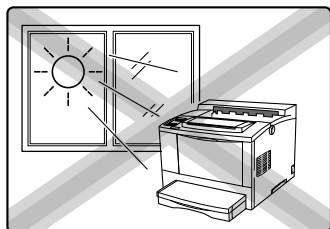
温度が32℃のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度28℃以下でお使いください。

MEMO

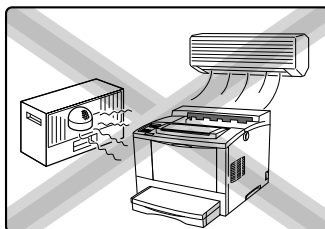
- ・冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。
- ・地震のときの移動防止、転倒防止対策については、お買い求めの販売店にご相談ください。

# 設置してはいけないところ

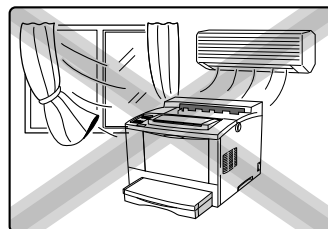
次にあげるような場所には設置しないでください。故障や発火の原因となることがあります。



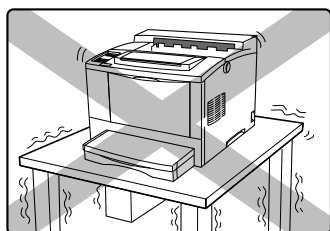
直射日光の当たる場所



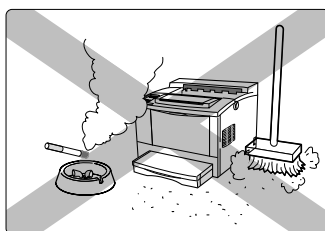
冷暖房器具に近い場所



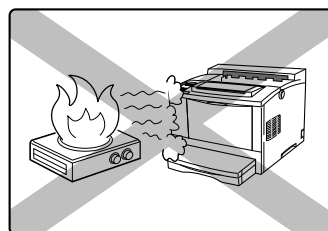
風が直接当たる場所



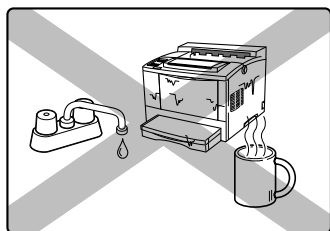
振動のある場所



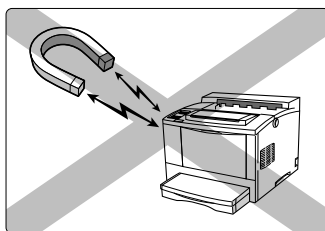
ホコリやチリの多い場所



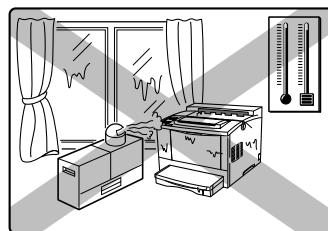
火気に近い場所



水気のある場所



磁力の影響を受ける場所



温度/湿度の変化が激しい場所



## その他の注意点

- ・本体左側の通気孔をふさがないようにしてください。
- ・湿度、温度の低い場所から高い場所へ移動したときや、室内温度が急激に変化したときなどは、プリンターの内部に結露を生じることがあります。このような場合には、移動後1時間以上放置してから、ご使用ください。

## 移動するときの注意

プリンターの重さはカセット、消耗品、オプションや用紙が入っていない状態で約28kgです。必ず2人以上で持ち運んでください。

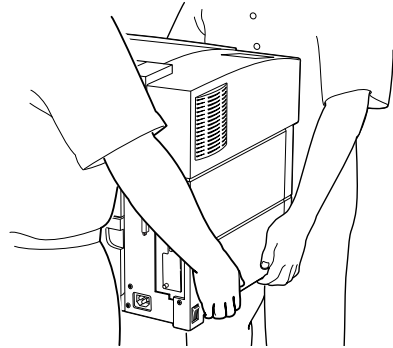
詳しくはP.191「プリンターを移動するときの注意」を参照してください。



オプションの給紙ユニットを装着した状態で移動することは避けてください。

### ⚠ 注意

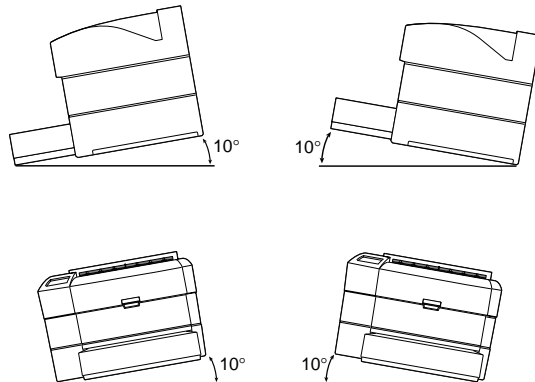
プリンターを持ち上げるときは、機械正面（操作パネル側）および背面に向かって、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。それ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるけがの原因となることがあります。



プリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

プリンターを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プリンターを移動する場合は、機械を10°以上に傾けないでください。転倒などによるけがの原因となることがあります。



# プリンターを設置します

プリンターの設置は次の手順で行います。どんな場合にも必ず必要な手順です。順番に作業を進めてください。

## 設置手順の流れ

EPカートリッジを取り付ける



給紙カセットに用紙をセットする



電源コードを接続し、電源を入れる



テスト印刷をして、電源を切る



プリンターとシステム・ユニットを接続する

# EPカートリッジを取り付ける

## EPカートリッジ取り扱い上の注意

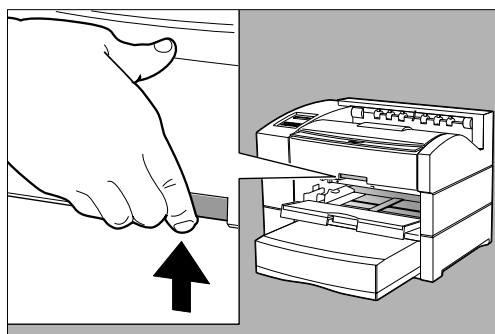
- EPカートリッジは、プリンターにセットするまで、袋から取り出さないでください。
- 袋から取り出したら、できるだけ早く（5分以内）プリンターにセットしてください。
- 直射日光などの強い光（1500ルクス以上）には絶対に当てないでください。
- EPカートリッジの取り付け作業は、できるだけ5分以内で作業を終了してください。
- ドラム・シャッターにより、EPカートリッジ内の感光体（ドラム）が保護されていますが、感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- EPカートリッジは立てたり、裏返しにして置かないでください。
- カートリッジは、両脇または取っ手を持つようにし、それ以外のところは触れないようにしてください。
- EPカートリッジは、IBM純正品をご使用ください。純正品以外では、良好な印刷が行えないばかりでなく、プリンターの故障の原因となります。純正品以外のカートリッジでの障害に関しましては、保証の対象外となりますので使用しないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。

次の手順でEPカートリッジを取り付けます。

### 操作の手順

1

上面カバー開閉レバーを押して、上面カバーのロックを解除します。

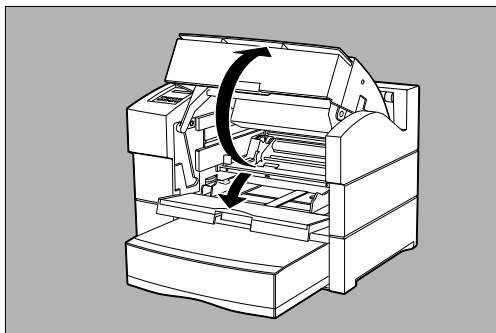


## 2 上面カバーをゆっくりと上後方に開きます。

前面給紙トレイが閉じている場合には、前面給紙トレイを手前に開きます。



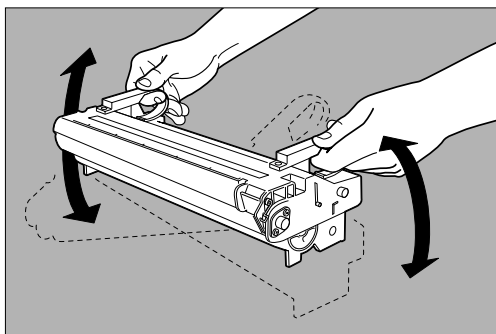
- ・プリンター内部の他の部品に手を触れないでください。



## 3 EPカートリッジを梱包から取り出し、ドラム・シャッターの間に入っている用紙を取り除き、図のように7~8回振ります。



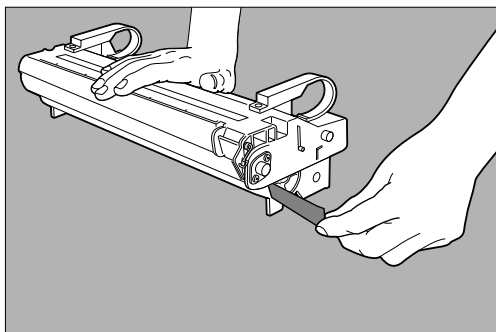
トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。また、よく振らないとプリンターの起動時に異常音やEPカートリッジ内部の破損が生じることがあります。



## 4 EPカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらもう一方の手でトナー・シールを引き抜きます。



トナー・シールを引き抜くときは、平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと途中でテープが切れてしまうことがあります。トナー・シールを引き抜いたあとは、EPカートリッジを振ったり、衝撃を与えないでください。



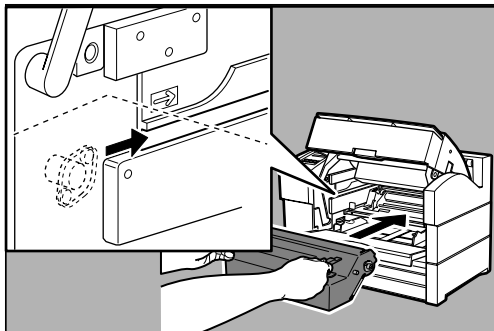
## 5

EPカートリッジをプリンターに挿入します。

EPカートリッジを図のように両手で持ち、EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部のガイドに合わせて水平にプリンター内部に挿入します。



プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

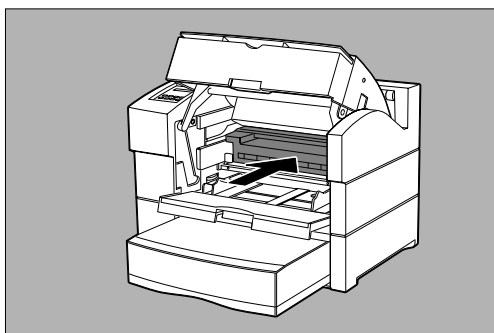


## 6

EPカートリッジを奥まで押し込みます。



確実にセットされていることを確認してください。



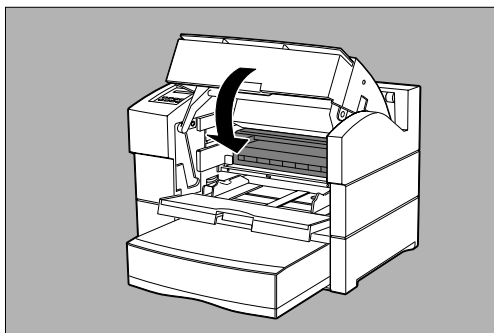
## 7

上面カバーを閉じます。

上面カバー中央を押して確実にロックして閉じます。



上面カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上面カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出してから、もう一度奥まで挿入し、閉め直してください。



## 8

前面給紙トレイを閉じます。

# 給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットに用紙をセットし、プリンターに取り付けます。

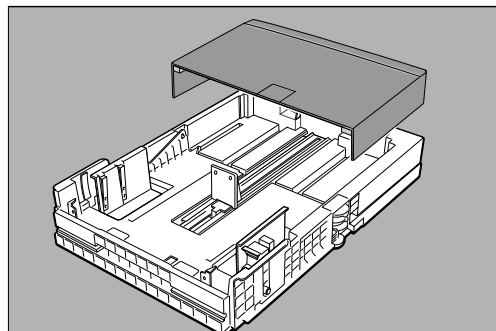
テスト印刷のためには、付属している給紙カセットを使用し、A4サイズの内紙をセットしてください。

使用する用紙については、⇒ 「付録A 用紙について」(P.194)

## 操作の手順

- 1 給紙カセットを平らな場所に置き、フタを開けます。

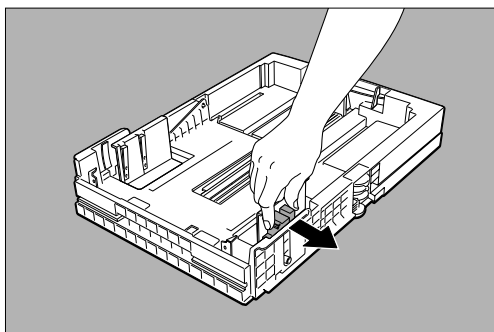
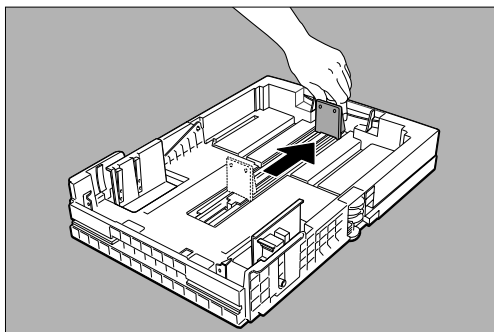
給紙カセットがプリンターにセットされている場合は、給紙カセットを手前に一度止まるまで引き出し、次に軽く持ち上げながらプリンターから引き抜きます。





## 2 ガイド・クリップをずらします。

縦ガイド・クリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら外側にずらします。次に横ガイド・クリップを指でつまみながら、外側にずらします。

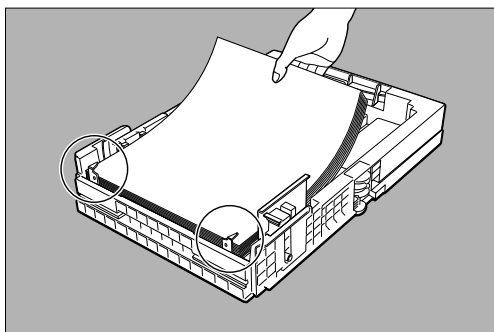


## 3 用紙をセットします。

用紙の四隅を揃え、印刷したい面を上にして、左右のツメの間に差し込むようにセットします。用紙が左右のツメの上にならないように注意します。

### MEMO

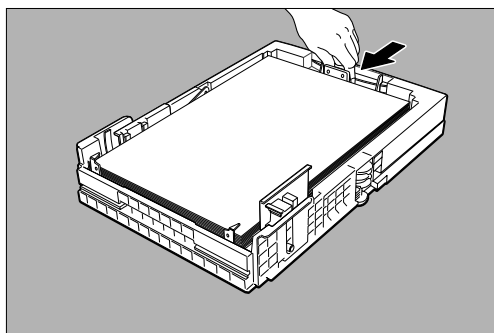
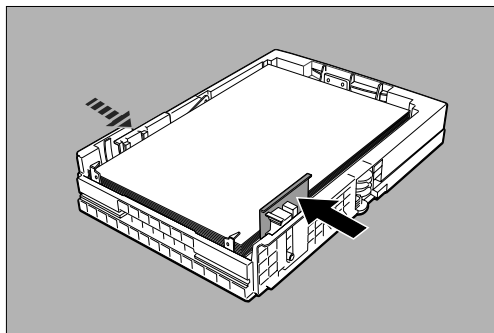
- ・折り目やしわの入った用紙は使用しないでください。
- ・セットする用紙の量は、横ガイド・クリップ内側の「用紙上限」表示位置を超えないようにします。
- ・残った用紙は、吸湿防止のため元の包装紙に包んで保管してください。



## 4 ガイド・クリップを合わせます。

まず、横ガイド・クリップを用紙の横の幅に合わせます。用紙の端を整えてから、縦ガイド・クリップを用紙サイズ目盛りに合わせます。

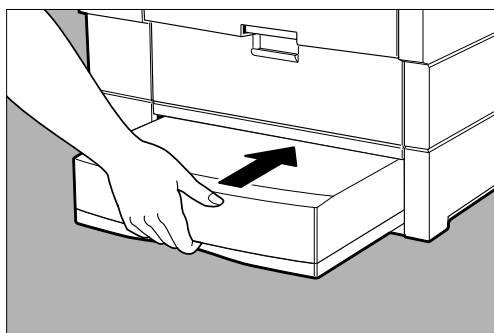
- ・用紙の端は、横ガイド・クリップのツメの下に入れてください。
- ・縦ガイド・クリップのストッパが、目盛りの穴にピッタリはまっていることを確認してください。
- ・Aサイズとレターサイズ用の紙サイズ目盛り位置が接近しています。ガイド・クリップを用紙サイズ目盛りに合わせる際には間違えないようご注意ください。



## 5 給紙カセットをプリンターにセットします。

給紙カセットのフタを閉め、奥までしっかり押し込みます。

- ・このとき、勢いよく押し込まないように気をつけてください。
- ・給紙カセットが確実にセットされていないと、紙詰まりの原因になります。



MEMO

給紙カセットのフタは必ず閉めてご使用ください。外気の影響で用紙の状態が変化し、紙詰まりの原因となります。

## 電源コードを接続し、電源を入れる

EPカートリッジと用紙のセットができたら、付属の電源コードをプリンターに接続し、電源を入れます。



電源スイッチを入れてから約75秒後に印刷できる状態になります。なお、1日の印刷作業の終わりや長期間プリンターを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。



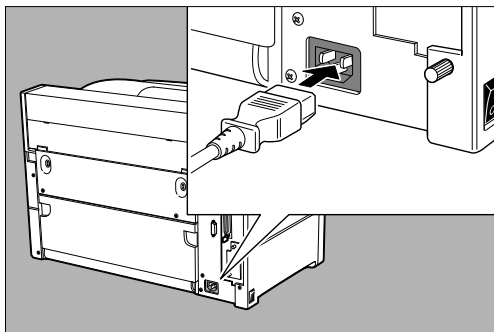
搬入や移動の直後に電源を入れる場合は、前面給紙トレイに用紙はセットしないでください。  
用紙ジャムの発生する場合があります。

### 操作の手順

#### ⚠ 注意

**1** 電源スイッチがOFF (○) になっていることを確かめます。

**2** 電源コードのプラグをプリンター背面の電源コード差し込み口に差し込みます。



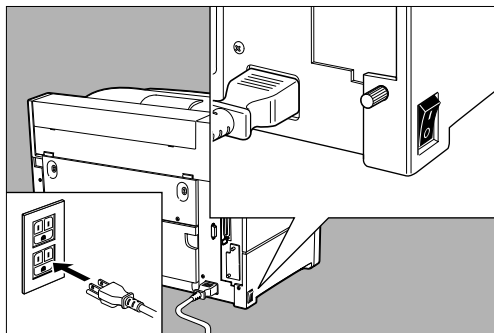
#### ⚠ 危険

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

#### ⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

**3** 電源コードのもう一方のプラグを電源コンセントに差し込みます。



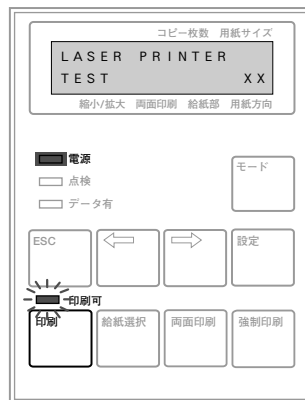
**4** 電源スイッチのON ( | ) 側を押し、電源を入れます。

操作パネルのランプが次のように変化します。

すべてのランプが順次点灯します。同時に液晶表示部に右のように表示されて、初期診断テストが始まります。



初期診断テスト中は、印刷可ランプが点滅します。



初期診断テストが終了すると、液晶表示部に右のように表示され、印刷可ランプが点灯します。

これがデータを受信できる状態（印刷可能状態）です。

電源投入時に異常がある場合は「異常時の診断」を参照してください。



## 電源についてのご注意

- 電源は、AC100V（50～60Hz）を使用してください。
- プリンターの最大消費電力（750W）に見合った十分な大きさの電源容量を確保してください。
- 電源コンセントは、次の規格のものを使用してください。  
ノンロック型コンセント（3極）  
定格：125V 15A 3極  
（JIS C8303に規定されているもの）



コンセントが接続される分電盤の電流容量は、15A以上必要です。

- 電源コンセントは、なるべくプリンター専用で使用してください。同じコンセントから他の電気製品、特にエア・コンディショナ、複写機、シュレツダなどの電源を取らないでください。電気的なノイズによってプリンターが誤動作することがあります。やむをえず同じコンセントから他の機器の電源を取る場合は、市販の高周波ノイズ・フィルターまたは専用トランスなどを設置してください。
- 電源電圧が不安定なときは、電圧調整器などを使用して、安定した電圧を確保してください。
- 延長コードの使用は、なるべく避けてください。やむをえず延長コードを使用する場合は、上記の規格以上のコードをプリンター専用で使用してください。また、接続部分を誤ってはずすことのないよう、コードは通行の妨げにならないように設置してください。

# テスト印刷をして、電源を切る

印刷可能状態になったら、テスト印刷を行います。テスト印刷を行うことで、プリンターが正常に動作しているかどうかを確認できます。

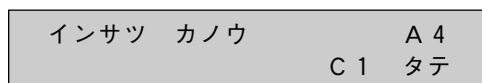
テスト印刷の操作は、プリンターの操作パネルを使って行います。

## 操作の手順

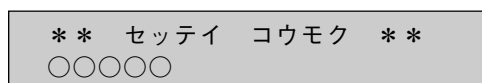
スイッチを押し間違えた場合などで、表示が下記の手順と違ってしまったときには、ESCスイッチを続けて押してください。次のいずれかの表示になります。



この表示になった場合には、手順3から操作をやり直してください。



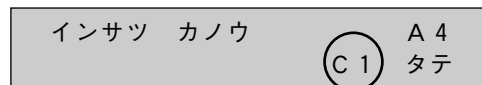
この表示になった場合には、手順4から操作をやり直してください。



○○○○○は、設定項目が入ります。

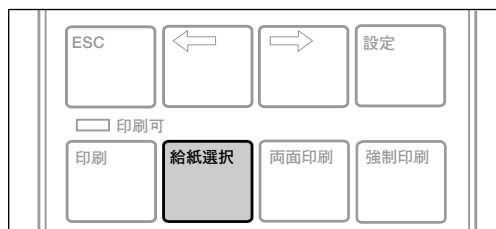
# 1

液晶表示部の給紙項目に [C1] と表示されていることを確認します。



[C1] (第1給紙カセット) 以外が表示されているときには、給紙選択スイッチを押して、[C1] を表示させます。

⇒ 「給紙部を選ぶ」(P.46)



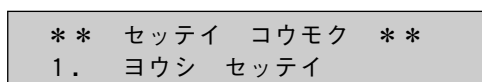
**2** 操作パネルの液晶表示部の表示が、右の図（印刷可能状態）のようになっていることを確認します。



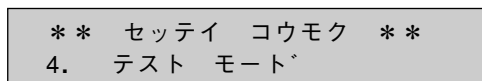
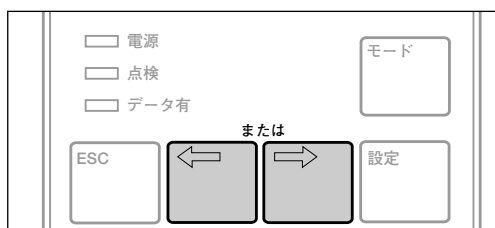
**3** モード・スイッチを押します。



表示が右のようになります。



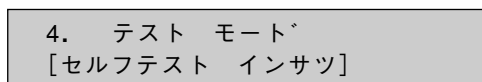
**4** ←スイッチまたは→スイッチを押して、[4. テスト モード] を表示します。



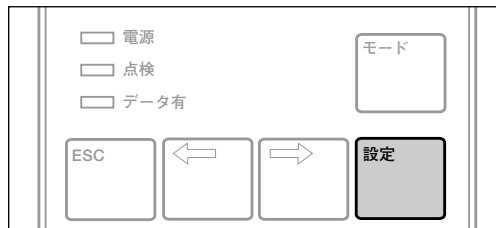
**5** 設定スイッチを押します。



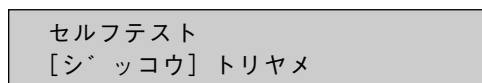
表示が右のようになります。



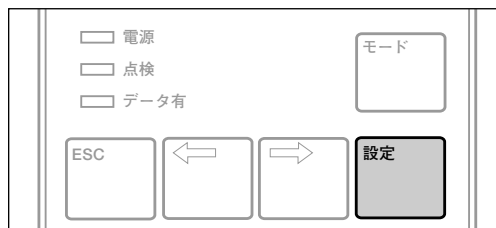
## 6 設定スイッチを押します。



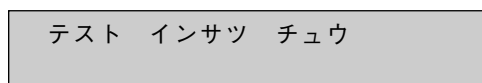
表示が右ようになります。



## 7 設定スイッチを押します。



「テスト インサツ チュウ」と表示され、テスト印刷が始まります。



- ・テスト印刷された用紙は、排紙トレイに印刷面が下向きになるように排出されます。
- ・印刷の具合を見て、印刷濃度が濃すぎたり、薄すぎる場合には、印刷濃度調整ダイヤルで印刷濃度を調節します。

⇒ 「印刷濃度を調整する」(P.85)



テスト印刷例



8 テスト印刷が終了すると、右の表示に戻ります。

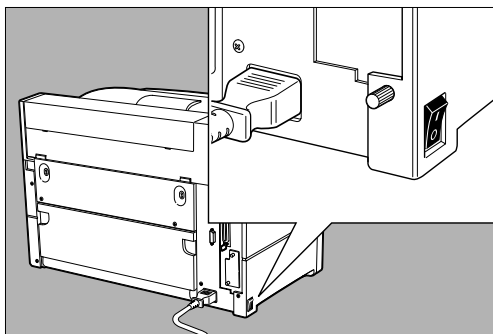
4. テスト モード  
[セルフテスト インサツ]

9 最後に電源を切ります。

印刷可ランプが消えていることを確認して、電源スイッチのOFF (○) 側を押し、電源を切ります。

すべてのランプが消灯します。

電源スイッチを切ると、プリンターのメモリーに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。



# プリンターとシステム・ユニットを接続する

テスト印刷の結果がよければ、別売のプリンター・ケーブルで、プリンターとシステム・ユニット（プリンターが接続されるコンピューター、またはコンピューター上で印刷を行っているアプリケーション・ソフト）を接続します。

## 操作の手順

### 注意

- 1** 電源のOFF (○) を確認します。  
電源スイッチがOFFになっていて、操作パネルのすべてのランプが消灯していることを確認します。
- 2** プリンターおよびシステム・ユニットの電源コードがコンセントに接続されていないことを確認します。  
接続されている場合は、コンセントから取りはずしてください。
- 3** プリンターとシステム・ユニットを接続します。  
(プリンターをシステム・ユニットに直結する場合)  
プリンター・ケーブルの一方のコネクターをプリンター背面の標準パラレル・インターフェース・コネクターに、もう一方をシステム・ユニット背面のコネクターに接続します。  
それぞれ、金具またはネジでしっかり固定してください。
- 4** プリンターおよびシステム・ユニットの電源コードをコンセントに接続します。

# システム・ユニットに合わせて プリンターを設定します

お使いのシステム・ユニットやソフトウェアに合わせて、プリンターを設定する手順を説明します。システム・ユニットやソフトウェアによって、必要な手順が異なります。

## 設定手順の流れ

エミュレーションの設定をする



インターフェースを設定する



プリンター・ドライバーを  
インストールする

お使いのオペレーション・システムに  
合わせて選択します。

# エミュレーションの設定をする

本プリンターには、他のプリンターの代わりとして利用できるようにする（エミュレートする）ために、エミュレーションモードを設定する機能があります。

ソフトウェアに対応するプリンターのエミュレーションモードを設定してください。たとえば、プリンターとしてEPSON ESC/P系プリンター（CANON BJ-10vなど）だけを指定するソフトウェアをお使いの場合は、「ESC/P」エミュレーションモードを指定すると、本プリンターでの印刷ができるようになります。

エミュレーションモードの設定は、モード設定の [3. インターフェース セッテイ] の [パラレル セッテイ] または [AIO セッテイ] の [エミュレーション] で行います。

[インターフェース セッテイ] には、次の2つの選択肢があります。

パラレル セッテイ	パラレル・インターフェースからデータが送られたときのインターフェースおよびエミュレーションモードを設定する
AIO セッテイ	ネットワーク・インターフェースからデータが送られたときのエミュレーションモードを設定する

AIO : Auxiliary Input Output (補助入出力) の略称です。

たとえば、データがパラレル・インターフェースから送られてきた場合には [パラレル セットイ] の [インターフェース モード] で設定されているエミュレーションモードになります。

パラレル、AIOの各インターフェースには、それぞれ次のようなエミュレーションモードが設定できます。

選択肢	内 容
PAGES	PAGES (⇔P.xiv) プリンターとして使用する
5577	IBM 5577系プリンターの互換機として使用する
ESC/P	ESC/P、BJ-10系プリンターの互換機として使用する
201PL	PC-PR201系プリンターの互換機として使用する
16シンダンプ	16シンダンプデータを印刷する

MEMO

IBMのオンライン系アプリケーション (3270PC、5250PCなど) をお使いになる場合はパラレル・インターフェースでお使いください。特に5250PC、3477Jを使用される場合は、パラレル・インターフェースでのみ使用可能です。また、この場合AIO (ネットワーク・インターフェース) の使用はできなくなりますのでご注意ください。

## 5250PC (IBMのオンライン・アプリケーション) あるいは 3477-J (IBMの日本語ワークステーション) を使用するとき

エミュレーションとして「5577」を選択します。



ご注意

3270PCから印刷をする場合に、パワー・セーブ中に印刷を行うと文字化けすることがあります。3270PCシステム生成でプリンター・チェック時間を4分に変更して下さい。

# インターフェイスを設定する

本プリンターには、通常使用するパラレル・インターフェイスのモードとしていくつかのモードがあります。

お使いのシステム・ユニット/ソフトウェアによって、プリンターのパラレル・インターフェイスのモードを設定します。

## ●通常（以下の場合以外）

工場出荷値は「スタンダード」になっています。「スタンダード F」を選択すると高速にデータ転送を行うことができますが、旧型のシステム・ユニットをご使用になるときに、データが正しく印刷できないなどの問題が発生する場合は、「スタンダード」でご使用ください。

## ●IBM 3270PC/5250PC（IBMのオンライン・アプリケーション）を使用するとき

「コンバージド」を選択

## ●IBM OS/2、IBM日本語DOSを使用するとき

「コンバージド」を選択

## ●IBM RISC System/6000でプリンター・インターフェイスをConvergedにしたとき

「コンバージド」を選択

## ●IBM RISC System/6000でプリンター・インターフェイスをStandardにしたとき

「P S/2 エイゴ」を選択

## ●IBM PCを英語モードで使用するとき

「P S/2 エイゴ」を選択

## ●PC-AT互換機を使用するとき

「P S/2 エイゴ」を選択

設定操作については、 「インターフェイス設定」(P.127)



IBMのオンライン系アプリケーションを使用される場合は、「エミュレーションの設定をする」(P.28)を参照してください。

## プリンター・ドライバーをインストールする

システム・ユニットからデータを印刷するには、プリンター・ドライバーをシステム・ユニットに登録する必要があります。プリンター・ドライバーは、システム・ユニットによって異なります。本プリンターには、Windows 95/98用、Windows NT 4.0/3.51用のプリンター・ドライバーが同梱されています。

### Windows用のプリンター・ドライバーをインストールする

Windowsが導入してあるシステム・ユニットからのデータを印刷するには、Windows用プリンター・ドライバーをインストールします。本プリンターに付属しているユーティリティー・ディスクセットには、PAGESモードで使用するWindows日本語版用プリンター・ドライバーが入っています。

Windows 95/98 日本語版をお使いの場合は、ディスクセットの中のディレクトリ名：WIN95のプリンター・ドライバーを、Windows NT 3.51日本語版をお使いの場合は、ディスクセットの中のディレクトリ名：NT351のプリンター・ドライバーを、Windows NT4.0日本語版をお使いの場合は、ディスクセットの中のディレクトリ名：NT40のプリンター・ドライバーを、インストールして「5589-K20」を指定してください。インストールすると、Windows日本語版上のアプリケーションからの印刷が可能になります。

インストールの方法は、通常のWindows用プリンター・ドライバーと同じです。詳しくは、ディスクセットの中のそれぞれのドライバーが入っているディレクトリ内にあるREADME.TXTファイルおよびWindowsのマニュアルを参照してください。また、プリンター・ドライバーの設定項目などについても、ディスクセットの中のREADME.TXTファイルに詳細な説明がありますので参照してください。



Windows 3.1が導入してあるシステム・ユニットからデータを印刷する場合は、Windows 3.1用5588-H02プリンター・ドライバーをインストールしてください。

ただしWindows 3.1用5588-H02プリンター・ドライバーを使用した場合、システム・ユニットから両面印刷オプションの制御を行うことはできません。

入手先：URL <http://www.ibm.co.jp/printer/>

## OS/2 Warp用のプリンター・ドライバーをインストールする

OS/2 Warp V3が導入されているシステム・ユニットのOS/2からデータを印刷するには、OS/2のシステム・ディスクから5588-H02のプリンター・ドライバーをインストールして下さい。

ただしOS/2用5588-H02プリンター・ドライバーを使用した場合、システム・ユニットから両面印刷オプションの制御を行うことはできません。



プリンターの設定を変更するとき  
使用するソフトウェアによって、ソフトウェア上でのプリンターの指定が異なります。プリンターの指定を正しく行わないと、正しい印刷結果が得られないのでご注意ください。

プリンター指定の方法について  
「付録E エミュレーションの解説」と、ご使用のソフトウェアの説明書を参照してください。

以上で、プリンターの設置は終了です。  
印刷操作については、「基本操作編」をお読みください。



# 最新のプリンター・ドライバーの入手先

プリンター・ドライバーはより良い印刷環境を実現するためにバージョン・アップすることがあります。

インターネットのダウンロード・サービスをご利用されると、最新版が入手できます。

最新ドライバーの入手先

URL <http://www.ibm.co.jp/printer/>

